

正解は①の甘酒。酒税法で定められている酒類に該当しないので軽減税率の対象に。②の歯磨き粉は飲食料品に該当せず、③の水道水は飲食料品と生活用水の区別ができないため10%に。

わからない 8%10%どっち?



〔新婦人しんぶん〕18年12月6日付より

クイズです。次の三つのなかにつだけ税率8%のものがありません。
 ①甘酒 ②歯磨き粉 ③水道水

ちょっと待った!!

今年10月やめて!

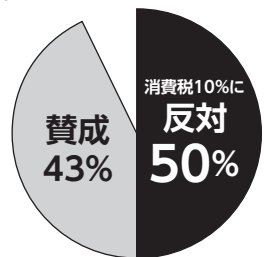
消費税10%

今こそ声をあげよう

安倍首相が表明した今年10月の消費税10%への増税。景気がさらに落ち込み、大混乱は必至です。10%中止へ力を合わせましょう。

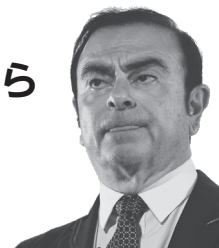
日本共産党

世論の多数は反対.....



あなたの懐は潤っていますか?—消費税8%への増税で個人消費は急落し、今なお低迷。こんな時に10%なんて...世論調査でも半数が反対です。

財源はある.....



「ゴーン前会長から税金取れ!」の声

大企業にせめて
 中小企業並みの法人税率 **4兆円**
 大株主優遇税制の是正 **1.2兆円**

財源というなら、これまで優遇され、ばく大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン前日産自動車会長のような富裕層に応分の負担を求めれば、10%増税分の4兆6,000億円はクリアできます。

一番の景気対策は消費税増税をしないこと

複数税率

政府は「軽減」税率と異なっていますが、外食と酒類以外の飲み物、食べ物などを8%に据え置くだけです。複数税率とも呼ばれ、お店に8%と10%の商品が並び、どの商品がどっちなのか分かりにくい。そのうえ、外食は10%で持ち帰りや宅配は8%—消費者もお店も大混乱は避けられません。

ポイント還元

政府の増税対策で特に評判が悪いのがポイント還元。共同通信の調査(12月)でも「反対」が62.1%です。

世論「反対」6割

政府は中小小売店でカード支払いすれば、還元率を最大5%にしました。一方「コンビニ」は2%、大手デパートは0%。そのうえ複数税率。買ったもの、買った場所、買い方(現金かカードか)によって消費税の実質負担率が5段階も。

カードで買い物をしていない人には何の恩恵もなく、中小小売店には新たな設備投資が迫られます。

混乱の極み!!